

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和2年 7月 15日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 福岡市博多区博多駅東3-2-28

氏 名 西日本電信電話株式会社

取締役福岡支店長 小澤 正憲

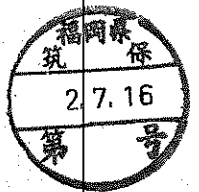
電話番号 092-434-0619

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西日本電信電話株式会社 福岡支店
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅東3-2-28
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	電気通信業
②事業の規模	福岡県内(一部市町村を除く)における電気通信業
③従業員数	3,300名(西日本電信電話株式会社) 116名(" 福岡支店) 令和2年3月末現在
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	pH2.0以下の廃酸(鉛蓄電池) ○排出場所から処分会社へ収集運搬業者の車両にて運送 ○処分会社にて中間処理(切断・割砕)し、素材ごとに分別 ・金属(巢鉛等)…素材として売却 ・プラスチック類…素材として売却 ・廃酸…処理委託会社にて中和処理後、再利用



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

福岡支店長

総務部長

総務部CSR推進担当

ビジネス営業部・営業部・設備部・企画部・総務部・北九州支店

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	pH2.0以下の廃酸	
排出量	81 t	t	
① 現状	(これまでに実施した取組) H27年度から鉛蓄電池の処分は、有価物として売却していましたが、鉛価格の暴落により、売却が困難となったため、昨年第2四半期以降は、特別管理産業廃棄物として処理をしています。 廃棄鉛蓄電池は、電気通信設備維持に要求される耐久年数や、性能を満たさなくなった物を計画的に撤去・廃棄しています。		
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	pH2.0以下の廃酸	
排出量	81 t	t	
② 計画	(今後実施する予定の取組) 現在、老朽化した電気通信設備の更改による省電力化を進めており、将来的には必要となる鉛蓄電池の容量削減や、耐久年数の向上等により、廃棄鉛蓄電池の排出量の抑制に努めています。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) pH2.0以下の廃酸（鉛蓄電池） 撤去後の保管の際、液漏れが無いことを確認し、ブルーシートで覆う等、他廃棄物の混入防止や、環境汚染防止対策をしています。
③ 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) pH2.0以下の廃酸（鉛蓄電池） 現状と同様の対策を実施します。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
③ 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
④ 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和元 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	pH2.0以下の廃酸	
	全処理委託量	81 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	81 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) pH2.0以下の廃酸（鉛蓄電池） リサイクル率及び処理能力が高い鉛蓄電池専門の処分会社へ委託。 （岡山県：三洋金属(株)）		

② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	pH2.0以下の廃酸
	全処理委託量	81 t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	81 t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組) pH2.0以下の廃酸(鉛蓄電池) リサイクル率及び処理能力が高い鉛蓄電池専門の処分会社へ委託。 (岡山県:三洋金属(株))	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(令和元 年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	81 t
	(今後実施する予定の取組等) 特別管理産業廃棄物(pH2.0以下の廃酸(鉛蓄電池))については、 全て電子マニフェストで運用しています。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。